

郡市別に觀た各種生産額

	農産物	畜産物	林産物	鐵産物	水産物	工産物	合計	前年ニ比シテ増減
水戸	七、八三三、四〇〇	三、五七〇、〇三三	一	一	一、五二六、一五二	三、八四四、九六九	一三、四七四、八一九	二五、一六四
東茨城	四、〇〇七、七一九	一、四三三、三三三	一	一	一、〇〇五、一〇〇	九七六、五五一	一〇、〇二一、七四四	八七、三一一
西茨城	八、九四三、五一	二、六二七、七六七	五、七七八〇	一	一、六五三、三三三	一、〇〇五、三三三	一三、三三三、四三三	一、九四三、二二六
那珂	七、四四三、三三三	三、七三〇、一〇一	一、三三三、三三三	三、一〇一	七、〇〇七、〇七〇	一、七九七、六六六	二二、一〇六、五五五	二、二九七、九三三
久慈	三、一三三、三三三	一、〇一〇、一〇一	一、三三三、三三三	一、二二二、二二二	一、四四四、四四四	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	八、五五五、〇〇〇
多賀	五、四四三、三三三	二、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	九、四四四、〇〇〇
鹿島	四、三三三、三三三	一、二二二、二二二	二、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	八、五五五、〇〇〇
行方	四、三三三、三三三	一、二二二、二二二	二、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	八、五五五、〇〇〇
稲敷	九、〇一〇、七〇七	四、三三三、三三三	二、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
新治	九、八三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
筑波	七、〇〇八、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
眞壁	八、〇一〇、七〇七	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
結城	七、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
猿島	七、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
北相馬	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、一〇一、一〇一	一、二二二、二二二	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、九四三、二二六
總計	六、五七〇、〇三三	四、三三三、三三三	五、七七八〇	一、二二二、二二二	六、二二二、二二二	五、〇一〇、七〇七	一、三三三、三三三	二、二二二、二二二

逐年發達する本縣の園藝

百合の香りは多賀が第一

昭和九年に於ける園藝農作物蔬菜及花卉の二(インゲンマメ、キウリ、シロウリ、カボチャ、スイカ、マクワウリ、ナス、トマト、ハナユリ)は作付段別合計五千四百四十八町九段にして之が生産價額は百九十五萬七千五百六十一圓で、産額を種類別にすると左の通りである。

スイカ	五八二、六五八圓 (六、四九一、九三四貫)
ナス	四三四、五〇五圓 (四、八一四、八六九貫)
カボチャ	二九九、八一四圓 (二、六八三、四九九貫)
キウリ	二八〇、六八〇圓 (二、九五三、六七五貫)
トマト	一四九、〇八三圓 (一、三九七、〇四七貫)
シロウリ	八一、七〇一圓 (六二二、八三九貫)
マクワウリ	六二、九六三圓 (四五一、二九九貫)
インゲンマメ	五六、一四六圓 (三、五八八石)
ハナユリ	一〇、〇一一圓 (六〇七、三〇〇個)

而して之を前年に比すれば作付反別に於て四百四十四町二反(零割八分九厘)を、價額に於て十六萬四千四百五十一圓(零

割九分二厘)を増加した。之を種類別に觀れば作付反別に於てインゲンマメ、カボチャ、スイカ、ナス、トマトは増加し就中スイカ、トマトは著しく増加した。價額に於ては各種類とも増加を示した。参考の爲最近五ヶ年間に於ける作付反別及生産價額を左に掲げる。

昭和五年	四、一二四、〇一 ^{町反}	一、六六六、三三七圓
昭和六年	四、四九四、〇六	一、四七二、四三〇
昭和七年	四、七六一、二	一、六〇四、四二三
昭和八年	五、〇〇四、七	一、七九三、一一〇
昭和九年	五、四四八、九	一、九五七、五六一

尙ほ九年の蔬菜及び花卉の收穫高を郡市別に表示すれば左の如くなる。

稻	新	筑	眞	結	猿	北	合
敷	治	波	壁	城	島	相	計
三〇・四	三〇・九	四〇・〇	二九・二	三〇・一	二九・五	二四・八	三九・七
三二	四六	三九	三三	一四	一四	三、五六	三、五六
四、四四	四、三二	六、四七	五、二六	四、四一	三、四九	一、八六	五、四四
四、四	三、一	三、〇	七、九	五、六	六、三	二、二	七、〇七
一、五九	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、七、九	一、三、五	二、五、五	二、五、五
一、七、九	一、二、〇	一、八、四	一、二、七	一、六、三	一、六、三	一、三、八	二、〇、六〇
三、〇	三、二	二、六	二、六	七、七	一、〇	一、五、五	一〇七・五
六、五〇	六、二四	七、一〇	六、二二	三、三、二	三、五、三	六、二、八	六、三、八元
一、四、六	九、三三	一、〇、八	二、三、五	四、七、八	四、七、八	八、六、八	八、七、〇

會社及工場御注意

會社票は二月十日限り工場調査票は二月末日限り市町村より縣へ進達すべき規定で
すが内容審査の上は期限を俟たずなるべく取急ぎ御提出を願います、尙用紙が不足の
場合は直ぐ統計課へ御申出下さい。

地方統計主任官會議

川崎統計課長出席

農林省

農林省では十月二十四、五の兩日、
地方統計主任官會議を開催、山崎農林
大臣の訓示に次いで本多統計課長の挨拶あり、指示注意の後協議に入り本省
並に各府縣提出の協議案を付議したが
本縣からは川崎統計課長及び小林屬出
席、左記三件を提出した。

- 一、統計補助金に關する件
- 一、第六麥豫想收穫高及第七麥の報告期限變更に關する件
- 一、園藝農産物中促成栽培の調査に關する件

尙ほ山崎農相の訓示、本多統計課長の挨拶要旨並に指示注意協議事項左の如し

山崎農林大臣訓示

今回地方統計主任官會議の開催せらるゝに當り一言申述べたいと思ひます
申す迄もなく統計は各般の政策を樹立する上に於て又之が運用の遺憾なきを期する上に於て最も重要な基礎資料となるものでありまして各種統計の整備充實を圖ることは極めて重要な事柄に屬するのであります。
偕て現下の状態を觀ますに我國の農山漁村は連年の經濟不況に喘ぎ未だ之より脱却するに至らない今日水害、旱害、冷害或は暴風雨等あらゆる天災に襲はれまして眞に未曾有の困難に遭遇致したのであります。此の窮狀を打開するが爲に政府としては相當巨額の實を擧ぐる程度の應急策を講じて居りま

統計調査員異動

(上は新任 括弧内は舊)

- 十月三十一日 猿島郡古河町 野本 總助(田谷健三郎)
- 十一月一日 鹿島郡白鳥村 日向寺富七(飯岡定右衛門)
- 小見 彦男(小見 良平)
- 飯島 甫(飯島 保)
- 小野 一二(小野 忍一)
- 菅谷 覺雄(菅谷 房吉)
- 十一月二十九日 新治郡高濱町 長谷川勇之助(細井彌兵衛)
- 十二月二十日 鹿島郡若松村 吉田善兵衛(辻野 昇七)
- 田谷 正雄(田谷谷五郎)
- 十月三十日 猿島郡古河町 田谷健三郎 (死亡)
- 十一月二十五日 結城郡江川村 大和田久一 (死亡)

寄贈圖書

昭和七年徳島縣統計書(第三編)